

授業イメージをつくりましょう

	小学校
教科・領域等	理科
授業タイトル・単元名等	空を見上げると（3） 冬の夜空 （2時間扱い）
対象学年	小学校第4学年
実施場所	コンピューター室
ICT活用授業の内容	<p>授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬見える星にも明るさや色の違いがあり、時間の経過とともに星が並び方を変えずに動くことが分かる。 ・ 冬の夜空に輝く星を観察しようとする。 <p>授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 冬の夜空の写真を見て、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の夜空の写真を見ながら、夏の大三角について思い出す。 ・ 冬の夜空の写真を提示し、気づいたことを話し合う。 2 冬の大三角を形作る星やオリオン座について知り、明るさや色の違いについて学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ NHK学校教育オンラインの「ふしぎ大調査」にあるクリップ映像を見て、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの3つの1等星をつないでできる三角形を冬の大三角ということや、オリオン座の形や星の特徴について知る。 3 星座を観察するための計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察する際の約束事（観察する星座を決める・星の色や明るさについて記録する・1時間後や2時間後の見える位置をスケッチする、など）を確認する。 ・ 星座早見板や方位磁針の使い方を確認する。 <p>ICT活用のねらいと授業での位置づけ</p> <p>夏の夜空に見られる「夏の大三角」を思い出した上で、冬の夜空にも「冬の大三角」が見られるということを押さえたい。そこで、教科書の写真をスキャナで取り込み、拡大プリンタでA1の大きさに引き伸ばした写真を提示し、見比べさせるようにする。児童の視線を一点に集めることができ、集中させることができるということがねらいである。また、授業時間内に観察することが不可能である冬の星座を提示するため、NHK学校放送オンラインからクリップ映像を視聴させる。星と星をつなぐ線なども表れ、児童が楽しみながら学ぶことができると考える。</p>
活用するICT	プロジェクタ、スクリーン、インターネット（NHK学校放送オンラインのビデオクリップ視聴のため） スキャナ、パーソナルコンピュータ、拡大プリンタ（掲示用挿絵作成のため）